

2008年(平成20年)8月19日 火曜日

大分市のベンチャー企業がつくった多目的トイレマップ。トイレがある場所や中の様子を調べることができる

多目的トイレマップ

携帯
電話



チャレンジ おおいた大会 開催会場
第1回全国障害者スポーツ大会



「多目的トイレ」一目で

大分市のベンチャー企業が、多目的トイレの情報を提供するサイトをインターネットに開設した。携帯電話でも見ることができ、GPS(衛星利用測位システム)機能を使えば、近くにある車いすのトイレや、オストメイト(人工肛門、人工ぼうこうの保有者)対応トイレの場所を調べることができる。十月に県内で開かれる全国障害者スポーツ大会には約五千人が来県する見込み。「活用してほしい」と呼び掛けている。

障害のある人が外出するとき、一番不安に感じるのはトイレの有無だという。トイレを理由に外出を嫌がる人もおり、知らない土地ではなおさら、事前のトイレ情報は欠かせない。

サイトは全国版。IT関連企業の「ライフ・エモーション」「Beiproject」「サイナス」いずれも大分市の三社が共同開発した。

場所、施設、都道府県ごとに検索でき、地図上にトイレの場所が示される。使用者が、使いやすさ、使いにくさを五つ星で評価で

携帯でも検索OK 情報提供サイト開設

大分市のベンチャー

き、赤や黄で色分けしている。閉店時間を過ぎた場合などトイレが使えない状態の時は、トイレマークが灰色に変わる。誰でも自由に情報を更新できる。

現在、全国の五千四百四十カ所、大分では県の協力で千二百七カ所を掲載している。全国障害者スポーツ大会のコーナーを特別に設け、会場ごとの情報を紹介している。パソコン、携帯電話のほか、カーナビ、ゲーム機などでも見ることができるといえる。

ライフ・エモーションの藤元宏一社長は「便利に利用できるよう工夫したサイト。障害者の外出の手助けができればうれしい」と話している。サイトのアドレスは(<http://wc.m47.jp/>)